

1. 科目名 (単位数)	ソーシャルワークⅢ (4 単位)	3. 科目番号	SNMP3357 SCMP3357 SSMP3157
2. 授業担当教員	武山 梅乗		
4. 授業形態	講義、グループディスカッション、発表、ロールプレイ	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	ソーシャルワークⅠ及びⅡをすでに履修していることが望ましい。		
7. 講義概要	<p>ソーシャルワークⅢは、ソーシャルワークⅠ・ソーシャルワークⅡで学習したソーシャルワークの基本的考え方、専門職倫理、ソーシャルワークプロセスと付随する専門技術等を前提として、個人、家族、集団、また地域社会といったクライアント・システムに対し、社会福祉士がソーシャルワーカーとして提供する専門知識と技術について学んでいく。</p> <p>特に、多様な課題と支援の必要性を持つ現代社会のクライアントに、より専門的に対応、その課題等の解消と軽減に向け働きかけることのできる知識・技術としての実践理論・アプローチについて学習する。加えて、グループを用いた支援、あらゆる場面で必要とされるコーディネーションとネットワーキング、関連する社会資源の調整と開発など、クライアントへの直接的・間接的相談援助技術について総合的・包括的に学習する。なお、本講義は社会福祉士国家試験の「相談援助の理論と方法」に該当する科目である。</p>		
8. 学習目標	<p>下記の目標を達成することが期待される</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ソーシャルワークの定義と「相談援助」の対象について再確認する。</li> <li>2. ケスマネジメント (ケアマネジメント) についてその概要を理解する</li> <li>3. グループを活用した支援について理解する。</li> <li>4. コーディネーションとネットワーキング、社会資源の調整・開発について理解する。</li> <li>5. ソーシャルワーク実践モデルとアプローチの概要と実践方法について理解する。</li> <li>6. スーパービジョンについて理解する。</li> <li>7. ケースカンファレンスについて理解する。</li> <li>8. 実践事例を通じて、相談援助に必要な専門知識・技術について横断的に活用ができる。</li> </ol>		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	授業で整理したところから、適宜小テストを行う。 適宜、授業内容をまとめるレポート課題を行う。		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 社会福祉士養成講座編集委員会 『相談援助の理論と方法Ⅱ (新・社会福祉士養成講座 8)』第 3 版、中央法規、2015 年。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準 ・ 8 つの目標を達成することができたか。</p> <p>○評定の方法 (1) 平常点 (授業態度・発表・発言・学習課題など) 20%、 (2) 課題レポート 30% (3) 試験 50%</p> <p>なお、本学規定により、3/4 以上の出席が確認できない場合は単位の修得を認めない。</p>		
12. 受講生へのメッセージ	ソーシャルワークの理論について事例を通して一緒に学んでいく。 様々な実践モデルやアプローチを学び、相談援助の実際について理解していくことが重要である。 わからないことをそのままにしないで積極的に質問すること。		
13. オフィスアワー	オフィスアワーは講義時間の前後に受け付ける。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	オリエンテーション (講義概要の説明) 相談援助における対象の理解① ・ 社会福祉援助活動の概念と定義について	事前学習	テキスト (社会福祉援助活動の概念と定義) を熟読すること。
		事後学習	ソーシャルワークの定義について自身の言葉でまとめておく。
第 2 回	相談援助における対象の理解② ・ 相談援助の対象をどうとらえるか	事前学習	相談援助の対象についてテキストにて調べる。
		事後学習	システム理論に基づいたクライアント理解についてまとめておく。
第 3 回	ケスマネジメント (ケアマネジメント) ① ・ ケスマネジメントの基本とその過程	事前学習	ケスマネジメントの基本とその過程についてテキストにて調べる。
		事後学習	ケスマネジメントの過程について再読し、ノートにまとめておく。
第 4 回	ケスマネジメント (ケアマネジメント) ② ・ ケスマネジメントにおけるアセスメントの特徴 ・ ケアプランの作成・実施の特徴 ・ ケスマネジメントの特徴・ソーシャルワークの関係	事前学習	ケアプランの作成過程についてテキストにて調べる。
		事後学習	アセスメントについて、自身の言葉で要約しておく。
第 5 回	グループを活用した相談援助 ・ グループの意義と展開、自助グループの活用	事前学習	グループワークについてテキストにて調べる。
		事後学習	自身が地域でどのようなグループに所属しているか書き出しておく。

第6回	コーディネーションとネットワーキング ・コーディネーションの目的と意義、方法と技術、留意点 ・ネットワーキングの目的と意義、方法	事前学習	コーディネーションとネットワーキングについてテキストにて調べる。
		事後学習	コーディネーションとネットワーキングについてまとめておく。
第7回	相談援助における社会資源の活用・調整・開発① ・社会資源の活用、調整・開発の意義と目的、方法と留意点	事前学習	社会資源についてテキストにて調べる。
		事後学習	自身の地域にある「社会資源」には何があるか調べてまとめる。
第8回	相談援助における社会資源の活用・調整・開発② ・ソーシャルアクションのシステム作りについて、事例研究	事前学習	ソーシャルアクションについてテキストにて調べる。
		事後学習	ソーシャルアクションによって新しい社会資源となったものを調べてノートにまとめておく。中間課題レポートを提出する。
第9回	さまざまな実践モデルとアプローチ (1) ・実践モデルの意味について	事前学習	ソーシャルワークの実践モデルについてテキストにて調べる。
		事後学習	なぜ実践モデルが必要か、考えノートにまとめておく。
第10回	さまざまな実践モデルとアプローチ (2) ・治療モデル・生活モデル・ストレングスモデルの理解について	事前学習	治療モデル・生活モデル・ストレングスモデルについてテキストにて調べる。
		事後学習	治療モデル・生活モデル・ストレングスモデルをそれぞれ、ノートにまとめておく。
第11回	さまざまな実践モデルとアプローチ (3) ・ジェネラリスト・ソーシャルワークの展開と実践モデル	事前学習	ジェネラリスト・ソーシャルワークについてテキストにて調べる。
		事後学習	ジェネラリスト・ソーシャルワークの展開と実践についてノートにまとめておく。
第12回	さまざまな実践モデルとアプローチ (4) ・心理社会的アプローチ	事前学習	心理社会的アプローチについてテキストにて調べる。
		事後学習	心理社会的アプローチに関する基本文献を探し、疑問点等をノートにまとめておく。
第13回	さまざまな実践モデルとアプローチ (5) ・機能的アプローチ	事前学習	機能的アプローチについてテキストにて調べる。
		事後学習	機能的アプローチに関する基本文献を探し、疑問点等をノートにまとめておく。
第14回	さまざまな実践モデルとアプローチ (6) ・問題解決アプローチ	事前学習	問題解決アプローチについてテキストにて調べる。
		事後学習	問題解決アプローチに関する基本文献を探し、疑問点等をノートにまとめておく。
第15回	さまざまな実践モデルとアプローチ (7) ・課題中心アプローチ	事前学習	課題中心アプローチについてテキストにて調べる。
		事後学習	課題中心アプローチに関する基本文献を探し、疑問点等をノートにまとめておく。
第16回	さまざまな実践モデルとアプローチ (8) ・危機介入アプローチ	事前学習	危機介入アプローチについてテキストにて調べる。
		事後学習	危機介入アプローチに関する基本文献を探し、疑問点等をノートにまとめておく。
第17回	さまざまな実践モデルとアプローチ (9) ・行動変容アプローチ	事前学習	行動変容アプローチについてテキストにて調べる。
		事後学習	行動変容アプローチに関する基本文献を探し、疑問点等をノートにまとめておく。
第18回	さまざまな実践モデルとアプローチ (10) ・エンパワメントアプローチ	事前学習	エンパワメントアプローチについてテキストにて調べる。
		事後学習	エンパワメントアプローチに関する基本文献を探し、疑問点等をノートにまとめておく。
第19回	さまざまな実践モデルとアプローチ (11) ・ナラティブ・アプローチ	事前学習	ナラティブ・アプローチについてテキストにて調べる。
		事後学習	ナラティブ・アプローチに関する基本文献を探し、疑問点等をノートにまとめておく。
第20回	さまざまな実践モデルとアプローチⅢ③ ・認知アプローチ・その他のアプローチ ・アプローチをめぐる課題	事前学習	認知アプローチについてテキストにて調べる。
		事後学習	認知アプローチに関する基本文献を探し、疑問点等をノートにまとめておく。中間課題レポートを提出する。
第21回	スーパービジョンとコンサルテーションの技術① ・スーパービジョンの意義と目的 ・スーパービジョンの方法と留意点	事前学習	スーパービジョンについてテキストにて調べる。
		事後学習	スーパービジョンはなぜ必要なのか、自身の言葉でまとめておく。

第22回	スーパービジョンとコンサルテーションの技術② ・コンサルテーションの意義 ・コンサルテーションの形態 ・スーパービジョンとの違いについて	事前学習	スーパービジョンとコンサルテーションの違いについてテキストにて調べる。
		事後学習	スーパービジョンとコンサルテーションの違いについてノートにまとめておく。
第23回	ケースカンファレンスの技術① ・ケースカンファレンスの意義と目的	事前学習	ケースカンファレンスについてテキストにて調べる。
		事後学習	ケースカンファレンスの意義についてまとめておく。
第24回	ケースカンファレンスの技術② ・ケースカンファレンスの実際、評価と普遍化について	事前学習	ケースカンファレンスの実践についてテキストにて調べる。
		事後学習	ケースカンファレンスの実際の事例を再読し、まとめておく。
第25回	相談援助における個人情報の保護	事前学習	個人情報保護法について調べる。
		事後学習	個人情報保護の必要性についてまとめておく。
第26回	相談援助における情報通信技術（ICT）の活用	事前学習	相談援助における情報通信技術についてテキストにて調べる。
		事後学習	自身の地域では、情報弱者のために工夫されているものがあるか調べて、ノートに書き出しておく。中間課題レポートを提出する。
第27回	事例研究・事例分析① ・事例研究の目的と意義、方法と留意点	事前学習	事例研究の目的と意義についてテキストにて調べる。
		事後学習	事例研究の目的と意義についてまとめておく。
第28回	事例研究・事例分析② ・事例分析の目的と意義、方法と留意点	事前学習	事例分析の目的と意義についてテキストにて調べる。
		事後学習	事例分析の目的と意義についてまとめておく。
第29回	相談援助の実際（事例1・2・3・4・5）	事前学習	テキストの相談援助の実際を熟読する。
		事後学習	事例研究の実際を再読し、まとめておく。
第30回	総まとめ	事前学習	授業内容のまとめをしておく。
		事後学習	課題レポートを提出する。